

★アンケート調査項目案(市民)

資料2-2
(8月29日)

NO	付問	設問	選択肢	新設問(案)	選択肢(案)
■1 あなたのことについて					
	1	性別	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない		
	1-1	年齢	1. 18歳未満 2. 18～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～64歳 7. 65歳以上		1. 16歳未満 2. 16～18歳 3. 19～29歳 4. 30～39歳 5. 40～49歳 6. 50～59歳 7. 60～64歳 8. 65歳以上
	2	あなたの職業について	1. 農業 ☒ 自営業(商店・工場・事務所など) 3. 会社員・公務員など ☒ パート・アルバイト 5. 内職 ☒ 学生 7. 家事専従(主婦・主夫) ☒ 無職 9. その他		
	3	あなたは、誰と一緒に生活していますか。 ※あてはまるものすべてに○	1. 配偶者(妻・夫) ☒ 2. 子ども 3. 子どもの配偶者 4. 父 5. 母 ☒ 6. 祖父母 7. 兄弟・姉妹 ☒ 8. その他の親族 9. 友人など家族以外の人 ☒ 10. 寮や施設の職員・仲間 11. ひとり暮らし ☒ 12. その他		
	4	越谷市に住まわれて何年になりますか。	1. 1年未満 2. 1～3年未満 3. 3～5年未満 4. 5～10年未満 5. 10～15年未満 6. 15～20年未満 7. 20年以上		
	5	あなたは、障がいや難病はありますか。	1. ある 2. ない		
	6	あなたの身近に障がいや難病等のある人がいますか、もしくは交流がありますか。	1. ある 2. ない		
	6-1	(問6で「1.ある」と答えた方) あなたは、障がいや難病等のある人とのような交流がありますか。 ※あてはまるものすべてに○	1. 家族等身近な親族にいる 2. 学校や職場の同僚として交流がある 3. 知人・友人として交流がある 4. 地域行事などの活動で交流がある 5. ボランティア活動で交流がある 6. 交流する機会がほとんどない 7. その他		
■2 防災について					
	7	あなたは、地震や台風などの災害時に備え、障がいのある人などの安全対策として、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。 ※1つに○	1. 地域・近所での日頃からの協力体制づくり 2. 障がいのある人を避難誘導する体制づくり 3. 避難訓練等への障がいのある人の参加促進 4. 障がいのある人に配慮した避難所の整備(トイレや段差の解消など) 5. 緊急時の情報伝達手段やコミュニケーション手段の充実 6. 災害に備えた生活支援・医療体制の整備 7. その他 8. わからない		

NO	付問	設問	選択肢	新設問(案)	選択肢(案)
■3 障がい者(児)の権利擁護について					
	8	もしも、あなたの周辺で、障がいのある人などへの虐待に気づいたら、どのように対応しますか。 ※あてはまるものすべてに○	1. あいさつや声かけなどをしながら、様子を見守る 2. 市役所や社会福祉協議会、相談機関などに相談することを勧める 3. 民生委員・児童委員に連絡する 4. 市役所や社会福祉協議会、相談機関などへ連絡する 5. 警察・交番に連絡する 6. その他 7. 関わりたくない 8. わからない		1. 市役所に連絡する 2. 埼玉県虐待通報ダイヤルに連絡する 3. 警察に連絡する 4. その他 5. 関わりたくない 6. わからない
	9	障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)について知っていますか。	1. 知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない	障害者虐待防止法について知っていますか。	
	10	障がいのある人への虐待をなくすために必要なことは何だと思いますか。 ※あてはまるものすべてに○	1. 介護者・支援者に対するケア 2. 虐待を受けている人が相談しやすい体制づくり 3. 社会生活を送るうえでの見守り 4. 障がいの特性や虐待についての知識の啓発 5. その他		
	11	平成28年4月1日に施行された、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)を知っていますか。	1. 知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない	令和3年の「障害者差別解消法」改正により、事業所による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化(令和6年4月1日施行)されたことを知っていますか。	1. 知っている 2. 聞いたことがある 3. 知らない
	新規			障がいのある人への差別をなくすために必要なことは何だと思いますか。 ※あてはまるものすべてに○	1. 差別を受けている人が相談しやすい体制づくり 2. 社会生活を送るうえでの見守り 3. 障がいの特性や差別についての知識の啓発 4. その他
	12	あなたは、障がいのある人に対する差別や人権侵害を感じることはありますか。	1. あると思う 2. 少しはあると思う 3. ないと思う		
	12-1	(「1.あると思う」「2.少しはあると思う」と答えた方) あなたは、どのようなところで差別や人権侵害を感じましたか。 ※1つに○	1. 教育の場 2. 仕事や収入面 3. コミュニケーションや情報の収集☑ 4. 学習機会やスポーツ・趣味の活動 5. 隣近所づきあい 6. 地区の行事・集まり 7. 外での人の視線☑ 8. 店などでの対応 9. 行政職員の対応・態度☑ 10. 交通機関の利用等 11. 公共施設の利用等 ☑ 12. その他	(「1.あると思う」「2.少しはあると思う」と答えた方) あなたは、どのようなところで差別や人権侵害を感じましたか。 ※あてはまるものすべてに○	
■4 障がい福祉施策に対する意識について					
	新規			あなたは、障がいや障がいのある人に対する理解が進んでいると思いますか	1. 進んだ 2. 少し進んだ 3. 変わらない 4. わからない
	13	あなたは、障がい福祉施策に関心がありますか。	1. ある 2. 少しある 3. ない		

NO	付問	設問	選択肢	新設問(案)	選択肢(案)
	14	あなたは、障がいのある人の介助(支援)をしたことがありますか。	1. ある 2. ない		
	15	あなたは、12月3日から12月9日までの1週間が「障害者週間」であることを知っていますか。	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らない		
	16	あなたは、「障害者の日記念事業ふれあいの日」という行事を知っていますか。	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らない		
	17	あなたは、「ノーマライゼーション」という言葉を知っていますか。	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らない		
	18	あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らない		
	19	あなたは、「バリアフリー」という言葉を知っていますか。	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らない		
	20	あなたは、「インクルージョン」という言葉を知っていますか。	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らない		
	21	(1)あなたは、ヘルプマークを知っていますか。	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らない		
		(2)あなたは、ヘルプカードを知っていますか。	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らない		
	22	あなたは、災害時支援バンダナを知っていますか。	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らない		
■5 情報の入手について					
	23	あなたは、保健・福祉に関する情報をどのようなところから得ていますか。 ※3つまでに○	1. 医療機関 ☐ 2. 民生委員・児童委員 3. 保健所 ☐ 4. 市の相談窓口 5. 社会福祉協議会 ☐ 6. 市広報紙などのお知らせ 7. 地域の回覧板・掲示板 ☐ 8. インターネット 9. テレビ・ラジオ・新聞 ☐ 10. 特にない 11. その他		
■6 地域で取り組む福祉について ⇒削除					
	24	あなたは、地域で組織されている「地区コミュニティ推進協議会」を知っていますか。	1. 知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない	削除	
	25	あなたが参加したことのある地域で行われている行事についてお答えください。 ※あてはまるものすべてに○	1. 配食サービス ☐ 2. 敬老会 3. ウォーキング(三世代交流) ☐ 4. グラウンドゴルフ(三世代交流) 5. 食事会(三世代交流) ☐ 6. ふれあいの集い(昔の遊び体験など) 7. その他 8. 参加したことがない	削除	
	26	あなたがお住いの地域で障がいのある方が困っていたら、その方に対してできることは何ですか。 ※あてはまるものすべてに○	1. 災害や急病などの緊急時の通報 2. 安否確認の声かけ 3. 話し相手 4. ゴミ出しなどちょっとした家事の手伝い 5. 車いすを押すなど外出時のちょっとした手伝い 6. その他 7. できないことがない	削除	

NO	付問	設問	選択肢	新設問(案)	選択肢(案)
■6 あなたと、地域や福祉との関わりについて					
	27	地域活動への参加について (1)過去の経験について ※該当する項目に○	1. 団体活動の指導 2. スポーツクラブ・サークルへの参加 3. 自治会・老人クラブなどの地域活動 4. PTAや子ども会活動 5. 高齢の人・障がいのある人を支える活動 6. 地域の防犯・防災・交通安全活動 7. 町内や沿道の美化活動 8. 自然環境を守る活動・環境にやさしい消費者活動 9. 地域での国際理解・国際交流活動 10. 特にない 11. その他		
		地域活動への参加について (2)現在参加していること ※該当する項目に○	1. 団体活動の指導 2. スポーツクラブ・サークルへの参加 3. 自治会・老人クラブなどの地域活動 4. PTAや子ども会活動 5. 高齢の人・障がいのある人を支える活動 6. 地域の防犯・防災・交通安全活動 7. 町内や沿道の美化活動 8. 自然環境を守る活動・環境にやさしい消費者活動 9. 地域での国際理解・国際交流活動 10. 特にない 11. その他		
		地域活動への参加について (3)今後参加したいこと ※該当する項目に○	1. 団体活動の指導 2. スポーツクラブ・サークルへの参加 3. 自治会・老人クラブなどの地域活動 4. PTAや子ども会活動 5. 高齢の人・障がいのある人を支える活動 6. 地域の防犯・防災・交通安全活動 7. 町内や沿道の美化活動 8. 自然環境を守る活動・環境にやさしい消費者活動 9. 地域での国際理解・国際交流活動 10. 特にない 11. その他		
	27-1	(問27 選択肢「5. 高齢の人・障がいのある人を支える活動」に○をつけた方) 具体的な活動について (1)過去の経験について ※該当する項目に○	1. 声かけや見守り・安否確認 2. 話し相手 3. 外出の付き添いや送迎 4. 代読・朗読 5. 点字・手話通訳 6. 買い物や手続きなどの代行 7. 生活自立の訓練サポート 8. 趣味やスポーツの指導・介助 9. 学習やパソコン習得サポート 10. 福祉関係の行事の手伝い 11. 福祉施設の手伝い 12. 障がい者団体等の手伝い 13. その他		

NO	付問	設問	選択肢	新設問(案)	選択肢(案)
		具体的な活動について (2)現在参加していること ※該当する項目に○	1. 声かけや見守り・安否確認 2. 話し相手 3. 外出の付き添いや送迎 4. 代読・朗読 5. 点字・手話通訳 6. 買い物や手続きなどの代行 7. 生活自立の訓練サポート 8. 趣味やスポーツの指導・介助 9. 学習やパソコン習得サポート 10. 福祉関係の行事の手伝い 11. 福祉施設の手伝い 12. 障がい者団体等の手伝い 13. その他		
		具体的な活動について (3)今後参加したいこと ※該当する項目に○	1. 声かけや見守り・安否確認 2. 話し相手 3. 外出の付き添いや送迎 4. 代読・朗読 5. 点字・手話通訳 6. 買い物や手続きなどの代行 7. 生活自立の訓練サポート 8. 趣味やスポーツの指導・介助 9. 学習やパソコン習得サポート 10. 福祉関係の行事の手伝い 11. 福祉施設の手伝い 12. 障がい者団体等の手伝い 13. その他		
■7 福祉のまちづくりについて					
	28	あなたは、越谷市手話言語条例を知っていますか。	1. 知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない	あなたは、思いやり駐車場(パーキング・パーミット制度)を知っていますか。	
	29	あなたは、障がいのある人が暮らしやすいまちをつくるために、今後、越谷市において、どのようなことが重要だと考えますか。 ※5つまでに○	1. 障がいの予防・早期発見・保健指導体制の充実 2. 障がい児の療育(発達支援)の充実 3. 特別支援教育など障がい児教育の充実 4. 居宅介護・ショートステイなどの在宅福祉サービスの充実 5. 通所施設の整備や施設運営の改善 6. 入所施設の整備や施設運営の改善 7. 福祉機器の利用のための助成 8. 医療やリハビリの充実 9. 福祉に関する情報提供や相談の充実 10. 就労の援助や雇用の促進 11. 生涯学習や文化活動の充実 12. スポーツ・レクリエーション活動の充実 13. 障がいのある人が住みやすい住宅の確保や居住環境の改善・整備 14. 建物や交通機関、道路など障がいのある人に配慮したまちづくりの推進 15. 防災や安全対策など安心して暮らせるまちづくりの推進 16. 保護者等が亡くなったあとの生活支援の充実 17. ボランティア活動の推進 18. 障がいに対する理解の啓発や交流の促進 19. コミュニケーションツールとしてのパソコンやスマートフォンの利用支援 20. その他		1. 障がいの早期発見・保健指導体制の充実 2. 障がい児の療育(発達支援)の充実 3. 特別支援教育など教育体制の充実 4. 医療的なケアが必要な方への支援の充実 5. 強度行動障害のある方への支援の充実 6. 居宅介護などの在宅福祉サービスの充実 7. 通所施設の整備や施設運営の改善 8. 入所施設の整備や施設運営の改善 9. グループホームの整備や施設運営の改善 10. 短期入所(ショートステイ)の整備や施設運営の改善 11. 福祉機器の利用のための助成 12. 医療やリハビリの充実 13. 福祉に関する情報提供や相談の充実 14. 就労の援助や雇用の促進 15. 生涯学習や文化活動の充実 16. スポーツ・レクリエーション活動の充実 17. 障がいのある人が住みやすい住宅の確保や居住環境の改善・整備 18. 建物や交通機関、道路など障がいのある人に配慮したまちづくりの推進 19. 防災や安全対策など安心して暮らせるまちづくりの推進 20. 保護者などが亡くなったあとの生活支援の充実 21. ボランティア活動の推進 22. 障がいに対する理解に向けた啓発や交流の促進 23. コミュニケーションツールとしてのパソコンやスマートフォンの利用支援 24. その他
	30	障がい福祉施策に関する市へのご意見・ご提案がありましたらお書きください。			

NO	付問	設問	選択肢	新設問(案)	選択肢(案)
■8 16歳未満の方ご本人					
	新規			(16歳未満の方ご本人にお聞きします。) 障がいのある人と一緒に生活するために、必要なことはなんだと思いますか。 ※あてはまるものすべてに○	1. 障がいについて理解する 2. 段差をなくす 3. 手話を学ぶ 4. わからない 5. その他()
	新規			(16歳未満の方ご本人にお聞きします。) 障がいのある人に対し、学校はどのような配慮が必要だと思いますか ※あてはまるものすべてに○	1. 障がいについて理解する 2. 先生やボランティアを増やす 3. 段差をなくす 4. エレベーターをつける 5. わからない 6. その他()
	新規			(16歳未満の方ご本人にお聞きします。) 障がいのある人が困っているのを見かけたら、どうしますか。 ※あてはまるものすべてに○	1. 声をかける 2. 見守る 3. 見ないふりをする 4. わからない 5. その他()
	新規			(16歳未満の方ご本人にお聞きします。) 障がいのある人に対する差別についてどう思いますか	1. 悪いことだと思う 2. なにも思わない 3. わからない 4. その他()
	新規			(16歳未満の方ご本人にお聞きします。) あなたはどんなことが障がいを理由とした差別になると思いますか。 ※あてはまるものすべてに○	1. 部活・クラブに参加できない 2. 障がいがあることを勝手に他の人に言う 3. ほじょ犬と一緒にスーパーや飲食店に入れない 4. 時間がかかるから筆談はしない 5. 自由に外出できない 6. わからない 7. その他()
	新規			(16歳未満の方ご本人にお聞きします。) 障がいのある人がからかわれるのを見たり、自分がからかったことはありますか。 ※あてはまるものすべてに○	1. そのようなことはない 2. 見たことがある 3. 自分がからかったことがある 4. わからない
	新規			(16歳未満の方ご本人にお聞きします。) 障がいについて学びたいことはありますか。 ※あてはまるものすべてに○	1. どんな障がいがあるか 2. 手話・点字 3. もうどう犬などのほじょ犬 4. バリアフリー 5. メンタルヘルス 6. 対応のしかた 7. わからない 8. その他()